

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和7(2025)年10月29日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「県庁、岩手銀行、岩手大学などで熊が出没しており、全国ニュースでも報道されている。人的被害が出ていないのが幸いであるが、出動が増えているため、身の安全に配意しながら地域の安全を確保していただきたい。また、本日の昼のニュースで交通部のショート動画『自転車安全講座』が紹介されていたが、分かりやすく非常に良いと思う。多くの人の目に触れる機会をつくり、自転車の交通違反等について県民の理解を深めていってもらいたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ JICA国別研修「地域警察（大洋州地域）」による岩手県警察視察について

警察本部から、「本年11月4日から19日までの16日間、警察庁と独立行政法人国際協力機構『JICA』の共催により、開発途上国に対する技術協力事業として、太平洋島嶼国の警察官を対象に地域警察研修が実施される。県警察においても、11月10日から12日までの3日間、地域警察活動の視察や災害発生時の対応等の研修プログラムが組まれ、本部長表敬や通信指令課の見学、地域警察官として東日本大震災を経験した職員との座談会、交番連絡協議会や巡回連絡の視察等を企画している。研修対象者は、太平洋島嶼国14か国うち、フィジーやパプアニューギニアなど9か国11名の警察官であり、地域警察官の活動や国際協力に対する日本警察の取組を紹介することで、島嶼国の抱える治安課題の解決の一助になればと考えている。」旨の報告があった。

○ 警察あて苦情の受理・処理状況について（令和7年9月末現在）

警察本部から、「本年9月中の受理件数は2件であり、内容は、いずれも警察官の対応に関するものであった。また、9月中における処理件数は6件であった。」旨の報告があった。

○ 令和7年度第2四半期における監察の実施結果について

警察本部から、「第2四半期は、警察署に対する業務・服務監察、警察署当直体制に対する業務・服務監察、交番等に対する業務・服務監察を実施した。警察署に対する業務・服務監察は、9月末までに9署に実施し、適正な留置管理業務の推進状況、情報セキュリティ対策の推進状況、適正な捜査指揮・捜査管理の推進状況、ハラスマント事案防止対策の推進状況、各種非違事案防止対策の推進状況について、警察署長、副署長又は次長、各署員からの応問、関係簿冊の確認等を行う方法で実施した。主な推奨事項は、『適正な留置管理業務の推進状況』として、適切な巡回による体調異変者の発見や、郵送差入れ物品の点検による通謀の未然防止、適切な教養・訓練の実施等を、『情報セキュリティ対策の推進状況』として、外部記録媒体を管理・点検する簿冊に外部記録媒体自体及び管理番号を撮影した画像を編綴し、点検作業の効率化と紛失防止に配意した管理をしている点を、『ハラスマント事案防止対策の推進状況』として、副署長によるハラスマント防止の教養・指示や、面接時における指導が良好な点、小集団検討や女性職員座談会の開催による意識啓発等を、『各種非違事案防止対策の推進状況』として、署員の飲酒マイルールをメールで署内に共有している点や、職員家族に対する署長書簡の発出等を、それぞれ良好と認められる点として評価している。指摘事項は、『適正な留置管理業務の推進状況』として、取調べ打切り要請の未実施や、各種教養・訓練の未実施等を、『適正な捜査指揮・捜査管理の推進状況』として、捜査用外部記録媒体持出簿の未記載及び同簿冊の未作成について、それぞれ指摘している。警察署当直体制に対する業務・服務監察は計11署に実施し、このうち、二戸署は交番監察も実施した。当直勤務員の服装・携帯品、拳銃・外部記録媒体の保管管理状況、留置施設の管理状況等について抜き打ちで行い、指摘事項は、外部記録媒体（デジタルカメラのSDカード）への写真データ残存等であった。指摘・指導事項は、各所属において指導し改善が図られたことを確認している。また、監察だより等の執務資料を通じて基本勤務の徹底や根拠規定・要領を周知し再発防止を図ることとしている。」旨の報告があった。

【交通部議題】

○ 専決事務処理状況（令和7年7月～9月）について

警察本部から、「本年7月から9月の専決事務処理状況について、顕著な増減のある項目を報告する。『交通企画課関係』は、目立った増減はないものの、自動車運転代行業の営業に関し交通企画課長専決による公安委員会名の指示処分を1件行った。処分理由は、公安委員会に提出しなければならない車両の変更に伴う変更届出書を提出しなかった変更届出義務違反である。『交通規制課関係』は、『道路標識・標示の設置』のその他が264件であり、前年同期比で56件増加したが、主な増加理由は、交通規制の合理化による自転車横断帯の廃止が91件に上ったものとなる。『運転免許課関係』は、『更新時講習の件数』について、本年は5年周期で多い年であるにもかかわらず、4万2,685件と前年同期から2,451件減少した。要因は、運転免許人口が8月末現在で前年同期より7,200人余減少したこと、具体的には、免許保有者の県外流出や自主返納等に起因するものと考えられる。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 警務課

行政文書開示請求に係る審査請求の受理による岩手県情報公開・個人情報保護等審査会への諮問についての説明、決裁

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 県民課

県警察に係る外部通報の措置結果及び次世代に向けた情報発信の在り方検討委員会（仮称）の設置についての報告

○ 監察課

監察課業務報告